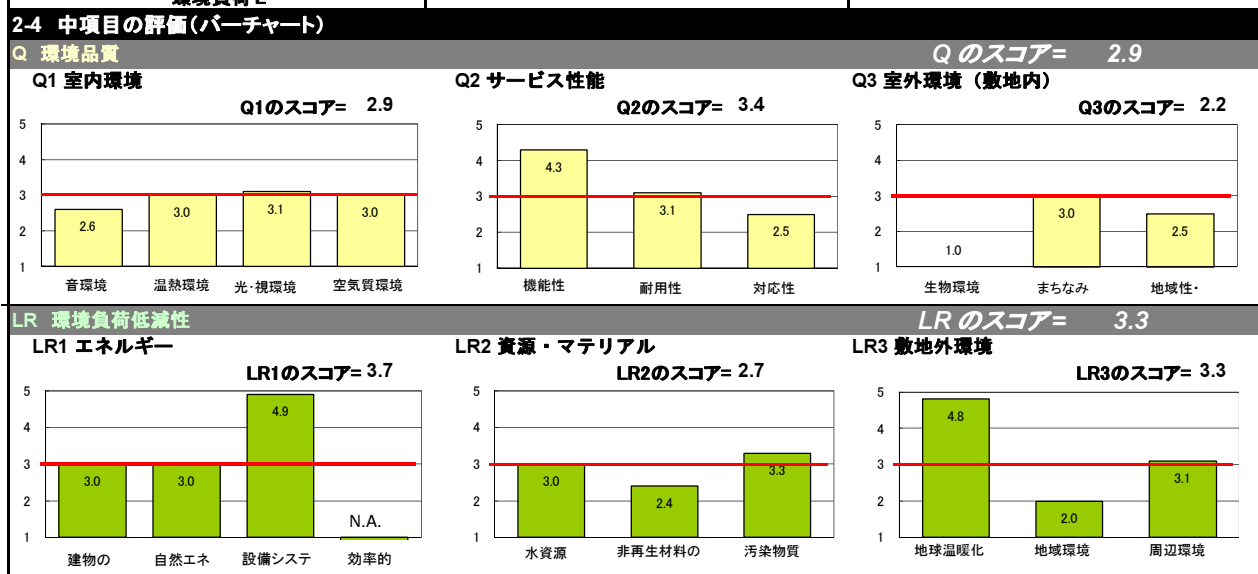
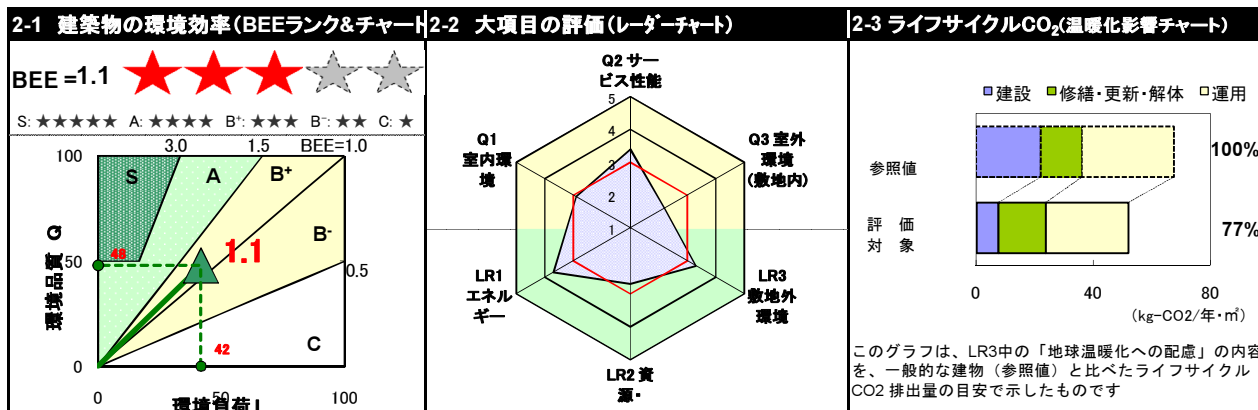


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イーグルコート河原町四条	階数	地上11F、地下1F
建設地	京都府京都市	構造	RC造
用途地域	防火地域	平均居住人員	3人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年3月 予定	評価の実施日	2009年12月4日
敷地面積	589㎡	作成者	
建築面積	526㎡	確認日	
延床面積	5,364㎡	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 複層ガラスを使用することにより、断熱、防音の効果を高め、快適な住環境を作り出している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 住戸内のフローリングにL-45を使用することにより、下階への衝撃音を低減している。	Q2 サービス性能 モデルルーム等により、内装計画の提案をしている。	Q3 室外環境(敷地内) 道路側に植栽を植える事により、街並みに配慮している。
LR1 エネルギー 共用部の照明をタイマー制御することにより、エネルギーの低減を図っている。	LR2 資源・マテリアル 石膏ボード等の下地や、仕上材にF☆☆☆☆を多く使用している。	LR3 敷地外環境 広告塔などの光害を近隣に与えるものがない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される